



平成30年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月10日

上場会社名 株式会社ETSホールディングス
コード番号 1789 URL <https://ets-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三森 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中澤 文雄

TEL 03(5957)7661

四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	2,784	22.1	59	84.3	57	86.6	44	86.3
29年9月期第2四半期	3,573	28.0	376	228.8	430	144.3	322	87.8

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 44百万円 (86.3%) 29年9月期第2四半期 322百万円 (90.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	6.93	
29年9月期第2四半期	50.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第2四半期	3,375	2,087	61.8	327.76
29年9月期	3,649	2,075	56.9	325.83

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 2,087百万円 29年9月期 2,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		0.00		5.00	5.00
30年9月期		0.00			
30年9月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,031	27.9	343	10.0	339	21.6	266	31.0	41.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期2Q	6,375,284 株	29年9月期	6,375,284 株
期末自己株式数	30年9月期2Q	6,231 株	29年9月期	6,231 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期2Q	6,369,053 株	29年9月期2Q	6,369,055 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や設備投資の改善および堅調な雇用環境が続くなか、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、米国政権の政策動向や、北朝鮮情勢の地政学的リスクの懸念など先行きが不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共投資・民間設備投資とも底堅い動きとなる一方、受注競争の激化や労務費・資材費の上昇傾向などの厳しい事業環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、工事量と利益確保の経営方針を継続し、グループを挙げて営業活動を積極果敢に展開するとともに、原価の低減、業務の効率化による生産性の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は27億8千4百万円（前年同四半期比22.1%減）となりました。

利益につきましては、売上高減少に伴い売上総利益が減少したことなどにより、営業利益は5千9百万円（前年同四半期比84.3%減）、経常利益は5千7百万円（前年同四半期比86.6%減）となり、親会社に帰属する四半期純利益は4千4百万円（前年同四半期比86.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（電気工事業）

電気工事業については、前年同四半期に大型工事案件の完成工事高の計上があったため、当第2四半期連結累計期間の売上高は23億4千4百万円（前年同四半期比26.8%減）、セグメント利益（営業利益）は9千万円（前年同四半期比76.2%減）となりました。

（建物管理・清掃業）

建物管理・清掃業については、受注競争の激化や人件費など固定費の増加の影響もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は4億3千9百万円（前年同四半期比19.1%増）、セグメント損失（営業損失）は3千1百万円（前年同四半期は5百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億7千3百万円減少し、33億7千5百万円となっております。また、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億8千5百万円減少し、12億8千8百万円となっております。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1千2百万円増加し、20億8千7百万円となっております。

資産の減少の主な要因は、現金預金2億6千4百万円の減少によるものであります。

負債の減少の主な要因は、未払消費税等2億3千9百万円の減少によるものであります。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金1千2百万円の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億6千4百万円減少し、15億6千2百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と増加・減少の要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は、2億1千6百万円（前年同四半期は2億1千3百万円の増加）となりました。この主な要因は、未払消費税等の減少2億3千9百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、1千2百万円（前年同四半期は4千8百万円の減少）となりました。この主な要因は、定期預金の払戻による収入1億5千万円がありましたが、有形固定資産の取得による支出1千2百万円及び定期預金の預入による支出1億5千万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、3千5百万円（前年同四半期は3千4百万円の減少）となりました。この主な要因は、短期借入れによる収入4億円がありましたが、短期借入金の返済による支出4億円及び配当金の支払額3千1百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の通期の連結業績予想については、今後の完工、受注予測を踏まえた結果、「平成29年9月期決算短信（平成29年11月14日付）で公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,077,225	1,812,508
受取手形・完成工事未収入金等	713,035	680,142
未成工事支出金	72,425	43,268
繰延税金資産	56,595	55,859
その他	44,849	111,554
貸倒引当金	△2,571	△14
流動資産合計	2,961,559	2,703,318
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	371,746	372,042
機械・運搬具	404,416	389,940
工具器具・備品	153,580	157,058
土地	328,042	328,042
減価償却累計額及び減損損失累計額	△719,254	△713,193
有形固定資産合計	538,530	533,890
無形固定資産		
のれん	51,468	43,283
その他	16,602	16,546
無形固定資産合計	68,071	59,830
投資その他の資産		
投資有価証券	50,000	50,000
繰延税金資産	4,182	4,182
その他	31,429	33,335
貸倒引当金	△4,541	△8,947
投資その他の資産合計	81,070	78,570
固定資産合計	687,672	672,291
資産合計	3,649,231	3,375,610

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	587,425	515,329
短期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	69,429	21,282
未成工事受入金	108,122	205,830
賞与引当金	17,603	11,828
工事損失引当金	3,163	3,389
完成工事補償引当金	3,082	1,760
その他	395,644	127,980
流動負債合計	1,484,472	1,187,401
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	6,163	6,163
退職給付に係る負債	73,549	75,480
その他	9,810	19,060
固定負債合計	89,524	100,705
負債合計	1,573,996	1,288,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	989,669	989,669
資本剰余金	763,694	763,694
利益剰余金	499,947	512,215
自己株式	△1,911	△1,911
株主資本合計	2,251,400	2,263,668
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△176,165	△176,165
その他の包括利益累計額合計	△176,165	△176,165
純資産合計	2,075,235	2,087,503
負債純資産合計	3,649,231	3,375,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高		
完成工事高	3,204,516	2,344,365
不動産管理売上高	369,223	439,856
売上高合計	3,573,740	2,784,222
売上原価		
完成工事原価	2,543,160	1,951,394
不動産管理売上原価	256,664	324,855
売上原価合計	2,799,824	2,276,250
売上総利益		
完成工事総利益	661,356	392,971
不動産管理売上総利益	112,559	115,000
売上総利益合計	773,916	507,972
販売費及び一般管理費		
営業利益	397,467	448,778
営業外収益		
受取利息	10	18
持分法による投資利益	53,730	—
匿名組合投資利益	750	900
その他	2,383	1,526
営業外収益合計	56,873	2,444
営業外費用		
支払利息	2,306	2,410
支払保証料	—	293
その他	294	1,149
営業外費用合計	2,600	3,853
経常利益	430,722	57,784
特別損失		
固定資産除却損	688	—
特別損失合計	688	—
税金等調整前四半期純利益	430,033	57,784
法人税、住民税及び事業税	111,189	12,934
法人税等調整額	△3,491	736
法人税等合計	107,698	13,670
四半期純利益	322,335	44,113
親会社株主に帰属する四半期純利益	322,335	44,113

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	322,335	44,113
四半期包括利益	322,335	44,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	322,335	44,113
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	430,033	57,784
減価償却費	26,567	27,423
のれん償却額	8,185	8,185
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,543	3,440
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,716	△5,774
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,032	1,930
その他の引当金の増減額(△は減少)	△50	△1,097
受取利息及び受取配当金	△760	△18
支払利息	2,306	2,410
持分法による投資損益(△は益)	△53,730	—
匿名組合投資損益(△は益)	△750	△900
有形固定資産除却損益(△は益)	688	—
売上債権の増減額(△は増加)	491,833	26,896
未成工事支出金の増減額(△は増加)	33,326	29,156
仕入債務の増減額(△は減少)	△701,334	△63,654
未払金の増減額(△は減少)	1,955	△16,263
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,793	△239,777
未成工事受入金の増減額(△は減少)	17,686	97,708
その他	9,893	△84,134
小計	255,830	△156,684
利息及び配当金の受取額	777	18
利息の支払額	△2,319	△2,343
法人税等の支払額	△40,450	△61,119
法人税等の還付額	—	3,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	213,839	△216,644
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,915	△12,884
無形固定資産の取得による支出	—	△3,200
定期預金の預入による支出	△150,118	△150,131
定期預金の払戻による収入	150,094	150,120
その他	△1	3,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,939	△12,537
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	400,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△400,000
自己株式の取得による支出	△10	—
配当金の支払額	△31,639	△31,732
リース債務の返済による支出	△3,128	△3,813
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,777	△35,545
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	130,121	△264,727
現金及び現金同等物の期首残高	1,011,675	1,827,104
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,141,797	1,562,377

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,204,516	369,223	3,573,740	—	3,573,740
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	443	443	△443	—
計	3,204,516	369,666	3,574,183	△443	3,573,740
セグメント利益又は損失(△)	381,656	△5,210	376,445	2	376,448

(注) 1 売上高の調整額△443千円及びセグメント利益又は損失の調整額2千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,344,365	439,856	2,784,222	—	2,784,222
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	375	375	△375	—
計	2,344,365	440,231	2,784,597	△375	2,784,222
セグメント利益又は損失(△)	90,985	△31,791	59,193	—	59,193

(注) 1 売上高の調整額△375千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。